

市政報告

市民には経費削減

12月議会の特徴は、①市長などの給料と退職金の引き上げ、②「市民生活部」を「健康福祉部」へ組織改変、③病院の工費の追加でした。

市長の給料は82万5千円を88万円へ、5万5千円（6・7％）の引き上げ。退職金は1435万円5千円を1760万円へ、324万5千円（22・6％）の引き上げとなりました。なお退職金は4年の任期ごとに支払われすでに2回支払われています。病院工費は39億円に約5億8千万円追加し、合計は44億5千万円となりました。



12月末、上下高校と交流のある浙江省平湖市の職業専門学校を訪問した際、足を延ばして訪れた天童寺の大石のまえで

発行者

小川 敏 男
水田 豊

府中市出口町 1076-4

TEL 41-7894

合併して良かったと言ってる市に！

新年明けましておめでとうございませう。

旧年中は温かい励ましをいただきありがとうございます。

本年4月は市議会議員選挙、皆さんの声を市政へ届けるため精一杯取り組みます。ご支援をお願い致します。

現在の府中市政は、現市長による独善、強権的な運営がまかり通っています。会うのは自分の支持者だけ。市民の前に姿を見せない。説明責任を果たさない。住民団体と会わない。ないないづくしの市政運営です。

結論を押し付け、都合の良い説明を一方的に流し、意見を言うものには、反対派のレッターを張り付けて排除します。

典型が上下の北市民病院です。独立行政法人化によって、常勤外科医が府中に異動し、ママシに嘔まされても診てもらえない。町に病院がありながら遠くの病院に行かざるを得ない。その実態をきちんと調べて対策を講じてほしいと言っても、なしのつぶて。上下町と府中市が合併して10年がたちました。どこに住ずんでも基本的な住民サービスが受けられるそんな市政に変えていくことが求められています。

新年を明るく希望の持てる年にするため奮闘します。共にがんばってまいりましょう。

水田 豊

視 点

うしろめたい給料と退職金の引き上げ！

市長など三役の給料と退職金の引き上げ問題は、議長を除いた議員19名の採決の結果、反対9名、賛成10名の1票差で決まりました。この問題について報告します。

府中市の秘密保護法

経費削減の姿勢がない

10月31日に特別職報酬等審議会が開催され、市長、副市長の報酬（給料）を引き上げるよう諮問（提案）し、同日に賛成する答申が行われました。

ところが、なぜか新聞発表されたのは一週間後の11月7日でした。総務文教委員会では「12月議会の議案で公にする予定だったが、マスコミから資料請求を求められ発表した」という答弁でした。

12月議会の議案まで発表しないということは1カ月近くも伏せておくということであり、市長にとって都合の悪いこと、市民に知られたくないことは公にしないという姿勢です。

これでは今回の給料引き上げ議案は府中市の特定秘密保護法になっています。市民から明らかに反発があるものはひた隠しにする伊藤市長の政治姿勢にまず問題あります。

市長の給料引き上げが新聞報道されて、市民は、

①65歳以上のインフルエンザ予防接種の個人負担額が福山市は千円なのに府中市は2千円であることや、②市民の憩いの場である府中公園は予算がないと無残な姿になり、公園の遊具もテープで巻かれ使用禁止となっていることなどは、府中市の財政が厳しいからだ。

それなのに、③投票所を9つ削減して市長の給料引き上げの原資にしている。④こんなときだけ17年間も上がっていないと都合のいい理由を持ち出す。⑤市長候補が他にいないからやりたい放題だ。と言っています。

こうした市民の声は、市民に経費削減を求めているにもかかわらず、市長みずから自分の給料を引き上げるとは何事か。市長こそが先頭に立って経費削減の姿勢を示すべきではないかという声です。

県内の市長の給料調べ（広島市を除く13市）

2013（H25）年12月1日現在

順位	市名	給料月額	順位	独自の削減後	順位	7.8%の削減後
1	福山市	112万0000円	1	108万6000円	1	100万8000円
2	呉市	103万4000円	2	98万2300円	2	95万1280円
3	東広島市	97万0000円	3	削減なし	3	85万3600円
4	三原市	94万3000円	4	削減なし	4	84万8700円
5	尾道市	94万0000円	6	86万4800円	6	79万9000円
6	廿日市市	92万0000円	5	削減なし	7	78万2000円
7	三次市	90万0000円	13	45万0000円	13	45万0000円
8	庄原市	86万0000円	7	削減なし	8	77万4000円
8	大竹市	86万0000円	10	75万6800円	9	73万1000円
8	安芸高田市	86万0000円	7	削減なし	9	73万1000円
11	府中市	82万5000円	9	削減なし	5	削減なし
12	竹原市	81万5000円	12	73万3500円	12	65万2000円
13	江田島市	75万8000円	11	削減なし	11	70万4940円

各市独自の削減や7.8%の削減の結果、現在の給料は右側になります。

今回の給料と退職金の引き上げは行政の最高責任者として経費削減の姿勢を示さなければならぬときに、真つ向から反する行為です。右の表は政令市である広島市を除いた県内13市の市長の給料です。他の自治体では最大で三次市長の50%カットをはじめ、経費削減のため、独自で市長や副市長、教育長の給料カットを行なっています。

上下で地域医療を守る第4回シンポジウム開催

200人以上の参加者が熱心に討議

12月1日上下町民会館で、地域医療を守る会が、第4回シンポジウムを開催しました。

当日は晴天に恵まれ200人以上の参加者で、熱心な討議のもと成功裏に終わりました。

なお、守る会ではこの日採択された決議を基に府中市への要望書を作成し、12月12日に提出をいたしました。

伊藤吉和府中市長は2011年3月議会で「上下町住民とはこの件に関してはお互い譲らないし、議会で決まることだから話は一切する必要がない」と公言しています。国民主権、民主主義国家で住民の意見が無視され、協議が拒否されるといって住民自治が認められていない実態は絶対に許されません。シンポジウムでは、

第1部でなぜこのような住民無視の政治が行なわれ、かつ許されるのか、合併した府中市にとって上下町は少数だからほっておかれるのか、という問題意識で、福島大学の今井照教授に「自治体とは何か、市民とは何か―市町村合併と原発災害避難から考える」と題して話をいただきました。



第2部 シンポジウム



12月12日府中市へ申入れ



第1部 今井教授の講演

地方独立行政法人化による縮小で上下地域の医療は崩壊寸前！

府中市地域医療再生計画に基づく府中北市民病院とJ A府中総合病院の経営統合・地方独立行政法人化は、以下の3点から根本的に間違った計画です。

- ①上下と府中は地域（医療圏域）が全く異なること
- ②中山間医療不足地域のなけなしの医療資源を、医療資源の豊富な都市部に移し、弱者救済・命の絶対平等という医療の理念に反していること
- ③地域住民との協議と合意がなされていないこと

府中市は「2つの病院を残すためだからご理解下さい」と繰り返すばかりで地域住民との協議を一度もおこなわず上下地域の住民の意向を無視して地方独立行政法人化を強行しました。

そして、北市民病院は理不尽にも縮小され、外科医師も府中に異動されました。

その結果、地域住民が事前に予測していた多くの弊害が発生し、診てもらえない、入院出来ない等の医療難民が続出し、夜勤看護師不足も深刻で、計画が間違っていたことが証明されました。上下地域の医療は崩壊寸前です。

優先すべきは消防団員報酬！

伊藤市長は今回の給料の引き上げ理由を「他市に比べて低い。引き上げるのではなく調整するのだ」と言います。

そうであれば、優先すべきは消防団員の報酬です。府中市の消防団員の報酬は年額99000円で、近隣では、福山市は2万8500円と約3倍、尾道市は2万円と約2倍、三原市は1万6000円と1.6倍となっています。消防団員の報酬の差は他市と比較して大

きすぎます。

消防団員の報酬比較 (2013年3月時点)

	報酬(年額)	手当	
府中市	9,900円	出勤1回	1,760円
福山市	28,500円	出勤1回	3,200円
尾道市	20,000円	出勤1回	2,000円
		会議・警戒1回	1,500円
三原市	16,000円	出勤1時間	1,000円 (6,000円上限)

府中市長がフェイスブック上で給与支給明細書を公開し「赤字生活」「シチヨール業の収支なんてこんなもの」「家具や光熱費、帰省飛行機代がかかっ

て、とつてい足りませんと、自分の赤字生活を明らかにしています。

市民は「ちよっと待ってよ。帰省飛行機代というけど、市長つて単身赴

それを言っちゃ
おしまいよ!

任でする仕事なの？ 故郷に骨を埋める覚悟でする仕事じゃないの。郷土愛にあふれているからみんなが応援するんよ。これじゃた

政治家の言葉

年末に安倍首相が靖国神社に参拝した。韓国、中国の反発は予想通りだろうが、アメリカにまで「失望」したと言われて慌てている。アメリカのあるメディアは「日本は平和主義から離脱」と報道している。

靖国神社には、日本を第二次大戦に巻き込んだ戦争指導者が一緒に祭られており、参拝することは、先の侵略戦争を正当化する行為

であるを受け止められず、もしかたがない。安倍首相が憲法改正論者であり、人権より国益を優先するタカ派のナショナリストであることは、前から知られていたことだ。「平和のため」とか「(参拝は)誤解されている」と言ったところで、その本心は隠しようがない。

今年、首相の参拝について外国の報道は、率直である。●EUのアシュトン外交安全保障上級代表「地域の緊張緩和の助けにならない」

靖国神社には、日本を第二次大戦に巻き込んだ戦争指導者が一緒に祭られており、参拝することは、先の侵略戦争を正当化する行為

であるを受け止められず、もしかたがない。安倍首相が憲法改正論者であり、人権より国益を優先するタカ派のナショナリストであることは、前から知られていたことだ。「平和のため」とか「(参拝は)誤解されている」と言ったところで、その本心は隠しようがない。

今年、首相の参拝について外国の報道は、率直である。●EUのアシュトン外交安全保障上級代表「地域の緊張緩和の助けにならない」

●中国外務省「口先で平和や対話を訴えながら、軍国主義を美化し、軍拡を進めている」

靖国神社には、日本を第二次大戦に巻き込んだ戦争指導者が一緒に祭られており、参拝することは、先の侵略戦争を正当化する行為

であるを受け止められず、もしかたがない。安倍首相が憲法改正論者であり、人権より国益を優先するタカ派のナショナリストであることは、前から知られていたことだ。「平和のため」とか「(参拝は)誤解されている」と言ったところで、その本心は隠しようがない。

今年、首相の参拝について外国の報道は、率直である。●EUのアシュトン外交安全保障上級代表「地域の緊張緩和の助けにならない」

●韓国キム・ギョヒョ外務第1次官は、参拝後の安倍首相の「不戦の決意」を示した談話に「誠意が欠如している」

参拝の本質を外国の報道で知るようではない。政治家の言葉の裏にある意図を見抜けるよう賢くなる年にしたいものだ。